

これからの国土空間利用と地方

- 期日■ 2011年12月2日(金)
- 会場■ メルパルクひろしま(広島市中区)
- 主催■ 地域経済研究推進協議会/中国地域シンクタンク協議会/
地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック/
広島大学域経済システム研究センター



2011年3月11日の東日本大震災と巨大津波、さらに原子力発電所の事故は、私たちの生活や生産活動に多大かつ深刻な影響を及ぼしています。私たちは、この未曾有の災害から何を学ぶか——。ドイツの事例をも参考にしながら、これからの国土空間利用と地方分権のあり方を議論してみたいと思います。多数の方々のご参加をお待ち申しあげております。 [定員100人、無料、申込方法は裏面]

- 13:00 開場
- 13:30 開会
- 13:40~14:50 基調講演1

日本の地域システムの変革期—大震災が気付かせた集中のリスクに向き合う—

瀬田史彦氏/大阪市立大学准教授

1972年生まれ。東京大学工学部卒業、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了、博士(工学)。東京大学先端科学技術研究センター助手、アジア工科大学客員助手(兼務)、シュトゥットガルト大学客員研究員(同)などを経て現職。都市計画、地域開発、建築土木。

- 14:50~16:00 基調講演2
(日本語)

一極集中と地方分散—日本とドイツの比較—

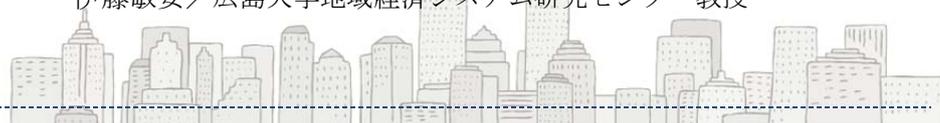
ゲオルグ・K. ロエル (Georg K. Löer) 氏/NRWジャパン代表取締役社長

1955年東京生まれ。ドイツのテュービンゲン大学、東京大学などで政治学・経済学・歴史学を学んだのち、銀行勤務などを経て2007年からNRWジャパン。同社はドイツのノルトライン・ヴェストファーレン州経済振興公社の日本法人として、立地を検討する日本企業へのコンサルティング、現地情報の提供、ビジネスセミナーや研究会を開催。

- 16:00~16:10 小休憩
- 16:10~17:20 意見交換

質問・意見 参加者の方々
回答・示唆 瀬田史彦氏、ゲオルグ・K. ロエル氏
進行 伊藤敏安/広島大学地域経済システム研究センター教授

- 17:30 閉会



これからの国土空間利用と地方

参加申込用紙

■期日■ 2011年12月2日(金)

■会場■ メルパルクひろしま(広島市中区)

参加ご希望の方は、11月25日(金)までにfaxまたは電子メールでお申し込みください。電子メールの場合、内容が分かれば書式は問いません(定員100人、無料)。

団体名 _____

お名前	所属など

※この情報は、今回の公開研究会の受付以外の目的で使用することはありません。

F a x 番号 (082) 249-4991

電子メール itot@hiroshima-u.ac.jp

[お問い合わせ] 広島大学地域経済システム研究センター

広島市中区東千田町1丁目1-89

担当: 伊藤 tel. (082) 542-6993

[参考]

地域経済研究集会は、地域政策の点検・評価と地域の政策形成に資することを目的として、中国四国地方を中心とした経済団体、主要企業、地方自治体、シンクタンク、大学などの関係者が参加して年1回開催しています。